

令和2年度学校自己評価システムシート（県立ふじみ野高等学校）

目指す学校像	学習とスポーツ・文化活動を両立し、地域に元気・感動・夢を発信する学校
--------	------------------------------------

重点目標	1 基礎学力の向上と授業の充実 2 基本的な生活習慣と規範意識の質的向上 3 キャリア教育の充実と進路実績の向上 4 部活動・生徒会活動・ボランティア活動の充実と発展
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者 生徒 事務局(教職員)	名 名 名
-----	-------------------------	-------------

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	<p>○現状 83.4%の生徒がチャイムで授業が始められる準備（移動教室を含む）をしており77.1%の生徒が、授業に意欲的に取り組んでいる。調査前の学習時間を1～2時間、2時間以上確保している生徒が59.0%いる。</p> <p>○課題 ・引き続き、全教員の共通理解の下進路実現を目指し、学力向上に向け授業改善に取り組む必要がある。 ・授業確保に努める。 ・学校行事の精選を推進する。</p>	基礎学力の向上を図る授業改善の推進。	<p>①アクティブラーニング等の手法を取り入れた授業改善、研究協議を実施する。公開授業週間等を活用して授業力を向上する。 ②チャイムトゥチャイムによる授業を教員・生徒とも徹底する。 ③3年間を見通して英検IBA等の各種検定に全校体制で取り組む。 ④行事日程を精選し、可能な限り授業を確保する。</p>	<p>①タブレットや教室のプロジェクトの活用状況 ①アクティブラーニング研究授業や教科研究授業を年12回実施 ②チャイムトゥチャイムの実施状況 ③各種検定の実施状況と受検者数及び合格状況 ④行事日程の工夫、授業カウント表の作成</p>			
2	<p>○現状 出席状況、身だしなみ、清掃活動、交通マナー等の基本的な生活習慣等は概ね良好である。</p> <p>○課題 ・生徒の規範意識を更に高めるため、継続して生活指導を行っていく必要がある。 ・生徒との面談機会を増やし生徒理解を深め、相談体制を強化する必要がある。</p>	主体的な規範意識の醸成と教育相談体制の充実。	<p>①生活指導、交通安全マナーアップ、校内環境美化を徹底する。 ②年間を通じて遅刻指導を継続し、特定期間を重点的に指導する。 ③二者面談、三者面談の実施、スクールカウンセラーの活用等の情報共有を積極的に行い、組織的に教育相談を実施する。</p>	<p>①通学指導を年8回実施 ①交通安全教室及び自転車点検の実施。 ①部室清掃を年3回実施 ②出席率95%以上、皆勤者数50%以上 ③学校評価アンケートの分析 ③SCの相談件数、自立支援事業の成果、個人面談の実施状況</p>			
3	<p>○現状 生徒の進路希望に応じた3年間を見通した進路指導により、「学校幹旋就職率100%」、生徒の希望している進路実現ができています。</p> <p>○課題 ・学校行事を精選し、学力向上に努めていく必要がある。 ・進路行事（学年別進路説明会、模擬面接会等）を更に充実させる。</p>	進路意識の向上と高い志を育み第一志望を実現する。	<p>①上級学校への進路実現に向けた補講や補習、対策講座を組織的に行う。 ②3年間を見通して各種ガイダンス、模擬テスト等を実施する。 ③保護者対象の進路説明会、地域の方々やPTA参加の進学・就職模擬面接会等を実施して、地域及びPTAとの連携を密にする。</p>	<p>①進学補講、補習、対策講座の参加者状況 ②学校幹旋就職率100% ②進路関係情報の提供回数 ②模擬テスト等の振り返り状況 ③保護者アンケートの分析 ③模擬面接等の実施状況</p>			
4	<p>○現状 ・多数の運動部が全国・関東大会に出場するとともに、全体として競技力が向上している。また、文化部は意欲的に活動をしている。 ・生徒会活動も活発化しており、行事に対する生徒の意識は高まっている。 ・生徒会が中心となりボランティア活動を行っている。</p> <p>○課題 ・継続して各部活動の充実を図る。 ・学校からの情報発信を積極的に行う必要がある。</p>	目標にチャレンジする強い意志と支え合う豊かな心の育成と本校の魅力の情報発信。	<p>①外部指導者を活用するとともに、科学的、効果的に練習を行い、上部大会に出場させる。 ②交流、ボランティア等、地域における事業に生徒・教員を積極的に派遣する。 ③中学校訪問・塾訪問を実施し、視察等も積極的に受け入れる。 ④生徒の活動をホームページに掲載、一斉メール配信システム等を有効活用する。</p>	<p>①部活動実績 ②地域交流等の派遣回数と参加生徒数 ③中学校訪問・塾訪問・視察等の受け入れ実施状況 ④ホームページの更新回数、メール配信の回数</p>			

学 校 関 係 者 評 価	
実 施 日	令 和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	